

## 平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	ゼミナールⅡB (SeminarⅡB)		授業コード	E002515
担当教員名	森田 和子		科目ナンバリングコード	E21202
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	必修	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	やむを得ず欠席したときは、プリントを自分でやり提出してもらいます。			
受講心得	自己管理をしっかりやり、休まず授業に出ること。			
教科書	プリントを配布。			
参考文献及び指定図書	ケステルス著「世界を変えた12人の経済学者」(TBSブリタニカ)			
関連科目	このゼミとあわせて財政学の講義を必ず受講してください。			

授業の目的	ゼミナールⅡAに続いて、専門的な勉強をするための基礎作りを行います。
授業の概要	ゼミナールⅡAと同じくプリントによる演習を通じて、各自の基礎学力を高めていきます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
後期は第10章 ジョン・メイナード・ケインズを読みます。	
<b>第1週:</b> 第1回 履修指導。オリエンテーション。	後期の学習計画をたてる。 学習自己評価シートを記入
<b>第2週:</b> 第2回 演習(1) 第10章 ジョン・メイナード・ケインズより、読者への奇襲を読む。	予習は必要ありません。プリントを自己採点し、提出。
<b>第3週:</b> 第3回 演習(2) 恵まれた家庭	前回のプリントを返却します。各自で見直しをすること。
<b>第4週:</b> 第4回 演習(3) 通貨問題	前回までのプリントの復習。
<b>第5週:</b> 第5回 演習(4) 通貨問題(つづき)	前回までのプリントの復習。
<b>第6週:</b> 第6回 演習(5) ロシア人バレリーナとの恋	前回までのプリントの復習。
<b>第7週:</b> 第7回 演習(6) 確認テスト 演習(1)～(5)までの復習。	前回までのプリントの復習。
<b>第8週:</b> 第8回 演習(7) 古典派の誤り	前回までのプリントの復習。
<b>第9週:</b> 第9回 演習(8) 世界恐慌	前回までのプリントの復習。
<b>第10週:</b> 第10回 演習(9) 有効需要 ケインズ理論の核心となる有効需要の考え方について学びます。	前回までのプリントの復習。
<b>第11週:</b>	

第11回 演習(10) 乗数効果 乗数効果とは何か。	前回までのプリントの復習。
第12週： 第12回 演習(11) 流動性選好 流動性選好とは。	前回までのプリントの復習。
第13週： 第13回 演習(12) 政府の役割	前回までのプリントの復習。
第14週： 第14回 演習((13) 政府の役割(つづき)	前回までのプリントの復習。
第15週： 第15回 まとめ キーワード財政(1)	前回までのプリントの復習。
第16週：期末試験 試験は実施しません。第16回 (補講) キーワード財政(2)	これまでのプリントの見直しをしてください。
授業の運営方法	(1)授業の形式 「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
備考	

<b>○単位を修得するために達成すべき到達目標</b>	
<b>【関心・意欲・態度】</b>	自己管理を基本に、努力を続けていく姿勢を評価。
<b>【知識・理解】</b>	むずかしい問題にも挑戦し、知識を増やしていくこと。
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b>	読み取った内容を書いてみる。概要を説明する力。
<b>【思考・判断・創造】</b>	状況にあわせた柔軟な思考ができる。ケインズ革命の意味を考える。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	0点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
<b>【関心・意欲・態度】</b> ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		60点		
<b>【知識・理解】</b> ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		10点		
<b>【技能・表現・コミュニケーション】</b> ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		20点		
<b>【思考・判断・創造】</b> ※「考え抜く力」を含む。		10点		
<b>(「人間力」について)</b> ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	困難をのりこえてねばり強く学習を続けられたか。
発表・その他(無形成果)	